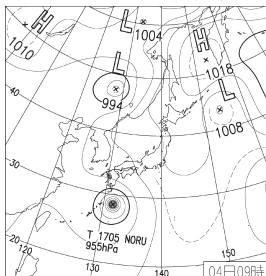


日々の天気図

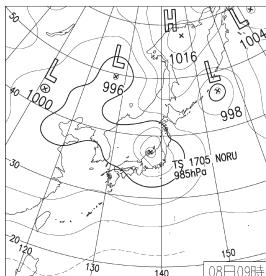
— No. 187

2017年 8月

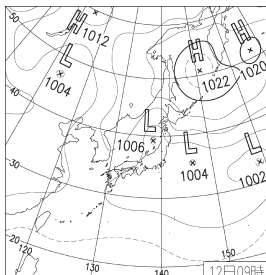
- ・4～9日、台風第5号が日本縦断、各地で大荒れ、土砂崩れ・道路冠水・交通障害等発生、負傷者多数。
 - ・25日、北陸・東北で大雨、秋田県雄物川が7月に続き再び氾濫。
 - ・那覇・名瀬など南西諸島で8月平均気温が過去最高、東京・大船渡・仙台で月間日照時間が過去最少。
- (気象庁予報部予報課)



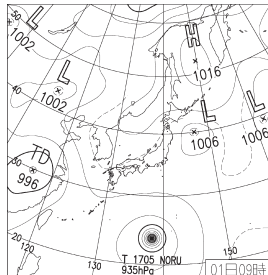
4日(金)台風第5号奄美に接近
九州南部・奄美は雨や風強まる。鹿児島県喜界島で最大瞬間風速34m/s。九州北部や山陰で気温上昇し、島根県で19地点中10地点など西日本中心に97地点で猛暑日。宮崎県で突風。



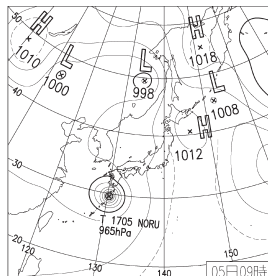
8日(火)台風第5号は夜温低下
沖縄や西日本は晴れて高温。台風は北陸を進み、福井県敦賀で最大瞬間風速28m/s、滋賀県柳ヶ瀬で47.5/1h、日降水量は石川県白山河内254.5mmなど北陸中心に史上1位や8月1位。



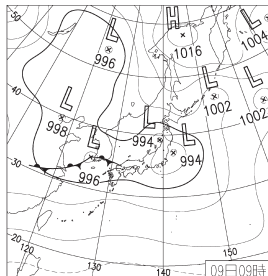
12日(土)北日本は低温
低気圧などの影響で山陰～東・北日本は所々雨、富山県五箇山8月1位の59.5mm/1h。北日本は最高気温上らず平年差-6～-11℃の所も、北海道標準13.9℃は8月の低い方から1位。



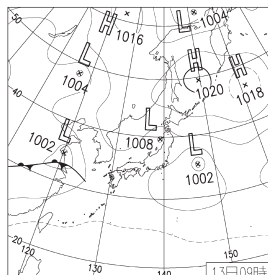
1日(火)関東中心に雷雨
沖縄・奄美～西日本は高気圧に覆われ概ね晴れ。湿った空気により午後は大気の状態が不安定となり関東中心に雷雨、神奈川県三浦74.5mm/1hと北海道美瑛59mm/1hは史上1位。



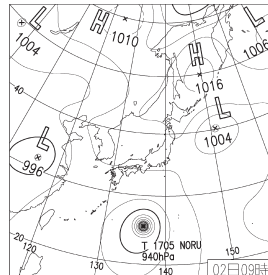
5日(土)鹿児島県で記録的大雨
台風の動き遅く、奄美や屋久島で記録的な大雨。鹿児島県名瀬92mm/1hと日降水量509mmは8月1位。笠利91mm/1h、日降水量348mmなど史上1位。屋久島で最大瞬間風速39.6m/s。



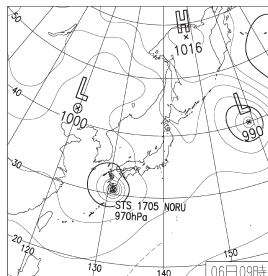
9日(水)関東各地で猛暑日
九州は激しい雨や雷、鹿児島県紫尾山40.5mm/1h。北海道も雨。猛暑日66地点中、暖気に覆われフェーン現象が加わった関東で46地点。群馬県館林で最高気温38.8℃。九州で突風。



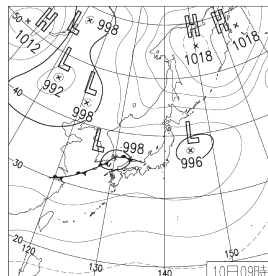
13日(日)猛暑日は1地点だけ
南西諸島～西日本は概ね晴れ。東日本は曇りや晴れて一部で激しい雨も。北日本は低気圧の影響で雨や曇り。熊本県人吉で最高気温35℃。群馬県黒保根で43mm/1h。



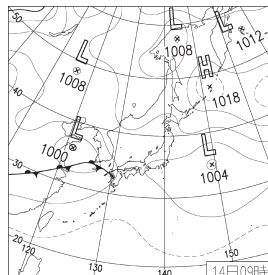
2日(水)北陸・東北梅雨明け発表
高気圧に覆われ沖縄～西日本は晴れ、北陸や北日本も概ね晴れ。東海や関東甲信は曇りや雨で気温上らず。台風第11号発生。茨城・栃木・埼玉・千葉県などで震度4が2回。



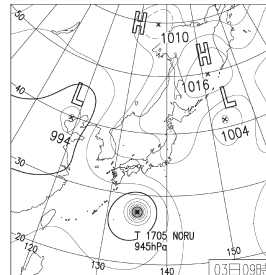
6日(日)台風第5号九州南部接近
台風の影響で九州南部中心に大雨や大荒れ。宮崎県など日降水量200mm超。鹿児島県で非常に強い風。日本海側中心に晴れて最高気温島根県益田39.3℃など中国～北陸で史上1位。



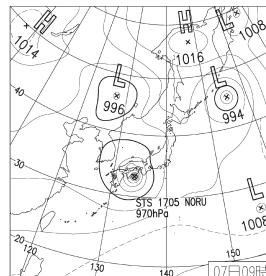
10日(木)日照不足・低温情報発表
オホーツク海高気圧の影響で北・東日本太平洋側で日照少ない日が続く。天候情報、北日本は最高気温5月中下旬並の所も、西日本は大気の状態不安定。京都府綾部74mm/1hで8月1位。



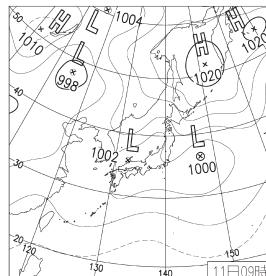
14日(月)全国的に曇りや雨
前線の影響で九州北部～山陰は大雨。長崎県頭ヶ島99.5mm/1hは8月1位の猛烈な雨。関東以北の太平洋側も曇りや雨。各地気温低めで猛暑日なし。真夏日は東海以西の全国約1/4。



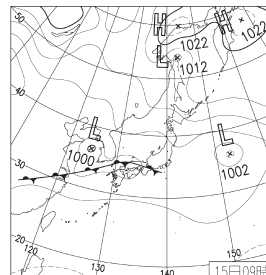
3日(木)オホーツク海高気圧張り出す
高気圧が北～東日本に張り出す。北日本や東～西日本の太平洋側は冷たい東よりの風や雲に覆われ気温上らず。最高気温は6月並の所も。その他の地域は晴れて九州中心に猛暑日。



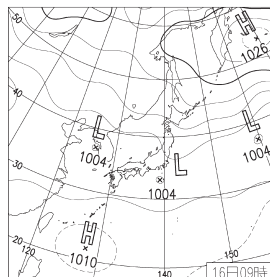
7日(月)台風、和歌山県に上陸
台風第5号は四国付近～夕方近畿へ。高知県室戸岬最大風速35.2m/s。四国～東海で日降水量250mm超。山梨県大月99mm/1h、石川県かほく最高気温39℃は共に史上1位。東海で竜巻。



11日(金)沖縄～西日本は酷暑
低気圧や湿った空気の影響で東～北日本は太平洋側を中心に曇りや雨で最高気温低め続く。長野県鬼無里81.5mm/1hと愛知県豊田63.5mm/1hは共に史上1位。台風第12号発生。

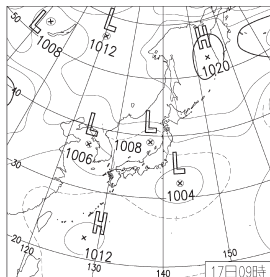


15日(火)熊本県で猛烈な雨
西日本に前線が停滞。午後には東日本にのびる。西～東日本は雨。北日本も湿った東風で曇りや雨。熊本県では鹿北95.5mm/1hで史上1位。甲佐81mm/1h、日降水量184mmは8月1位。



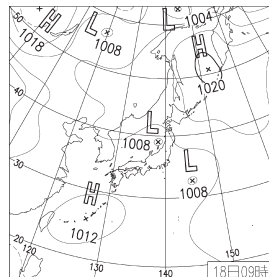
16日(水)やませ続く

沖縄・奄美は高気圧に覆われて晴れ。その他の地方は気圧の谷や冷たく湿った北東風の影響で、東日本中心に曇りや雨の所多い。福岡県小島島で85.5 mm/1 hの猛烈な雨、3時間175 mm。



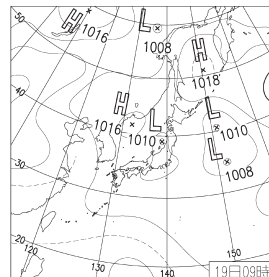
17日(木)西～東日本で激しい雨

沖縄～九州南部は高気圧に覆われ晴れ。湿った空気流入し九州北部～東日本は大気の状態不安定で激しい雷雨。高知県紫藤75.5 mm/1 h。関東以北の太平洋側は曇りや雨で気温低め。



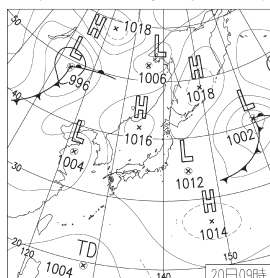
18日(金)各地で非常に激しい雨

沖縄～西日本は概ね晴れ、一部で雨。その他は曇りや雨。未明～朝にかけて近畿・東海・甲信などで非常に激しい雷雨。長野県菅平59.5 mm/1 h。日降水量岐阜県多治見153.5 mmで8月1位。



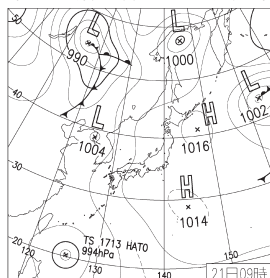
19日(土)東日本で局地的な大雨

暖かく湿った空気が流入した東日本～東北は寒気の通過も加わって大気の状態不安定となり各地で局地的な大雨や雷。新潟県では巻56.5 mm/1 hなど8月1位の非常に激しい雨の所も。



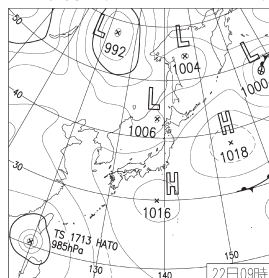
20日(日)台風第13号発生

オホーツク海高気圧は夜には北海道の東へ南下。湿った東よりの風が入る関東以北の太平洋側で曇りや雨の他は概ね晴れ。沖縄県石垣島最高気温35.6℃は1896年観測開始以来1位。



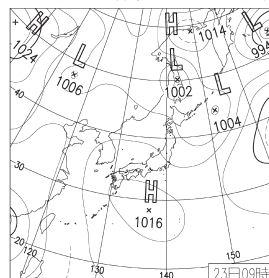
21日(月)台風第13号西進

沖縄～四国は湿った空気の影響で九州を中心に雨。その他の地方は高気圧に覆われて概ね晴れ。午後は局地的に激しい雨や雷雨。台風第13号は沖縄の南の北緯20度付近を西進。



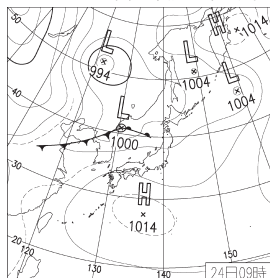
22日(火)各地で雷雨

湿った空気が入り全国的に大気の状態不安定。西～東日本は所々晴れたが午後は各地で雷雨。北陸や北日本も所々で激しい雷雨。岩手県蔵川史上1位の65 mm/1 h。北陸・関東で突風。



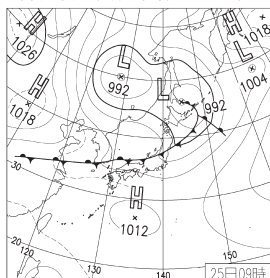
23日(水)関東でも猛暑日

東日本以西は日本の南の高気圧に覆われ晴れ。関東以西67地点で猛暑日。真夏日は全国の約6割。高知県江川崎最高気温37.9℃。日本海側は湿った空気流れ込み新潟県高根50.5 mm/1 h。



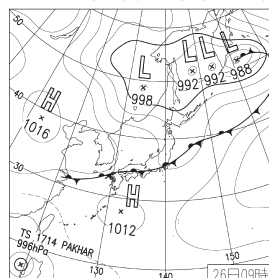
24日(木)北日本に低気圧接近

沖縄～西日本や東海・関東は晴れて昇温し西～東日本の152地点で猛暑日。北陸や北日本は低気圧や前線の影響で曇りや雨。山形県差首鍋で史上1位の71.5 mm/1 h。鹿児島県で震度4。



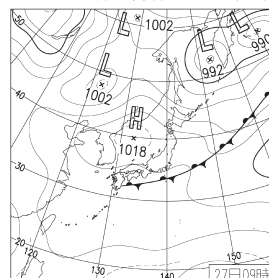
25日(金)北陸～東北で大雨・雷

オホーツク海の低気圧から前線がのび本州南下。石川県七尾69.5 mm/1 h。福井県勝山の日降水量115.5 mmは共に8月1位。山形、高松などで最低気温が史上1位の高さ。台風第14号発生。



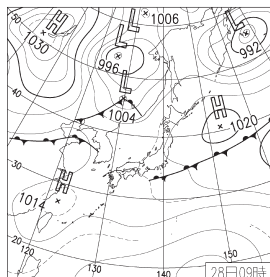
26日(土)九州を中心に大雨・雷

沖縄・奄美は高気圧に覆われて晴れ。その他の地方も晴れた所多いが、前線や気圧の谷に伴う雨雲が通過。長崎県長浦岳77 mm/1 h。佐賀県唐津70 mm/1 hの非常に激しい雨。



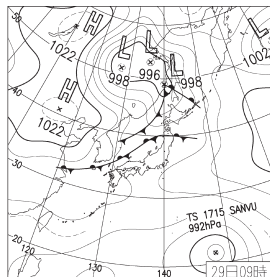
27日(日)暑さ少し和らぐ

日本の南岸に前線停滞。伊豆諸島や奄美を中心に所々で雨。鹿児島県大隅で8月1位となる58 mm/1 hの非常に激しい雨。日本海の高気圧に覆われ全国的に晴れたが猛暑日の地点なし。



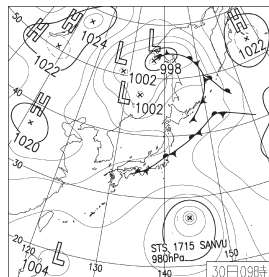
28日(月)台風第15号発生

高気圧に覆われ、沖縄・奄美や西～東日本は晴れた所が多いが、暖かく湿った空気が流れ込み局地的に激しい雨。徳島県日和佐で42.5 mm/1 h。気圧の谷の接近で北日本は曇り。



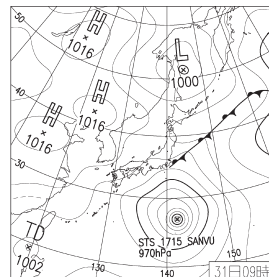
29日(火)前線通過時に雨

西～東日本の太平洋側は高気圧に覆われ気温上昇。高知県江川崎で最高気温36.5℃。西～東日本の日本海側や北日本は前線通過時に雨。兵庫県生野で39.5 mm/1 hの激しい雨。



30日(水)北海道で冷え込む

上空寒気や放射冷却の影響で最低気温は5℃台の所も。各地で8月1位の冷え。前線の影響で関東で大気の状態不安定となり局地的な大雨。神奈川県丹沢湖63 mm/1 hで8月1位。



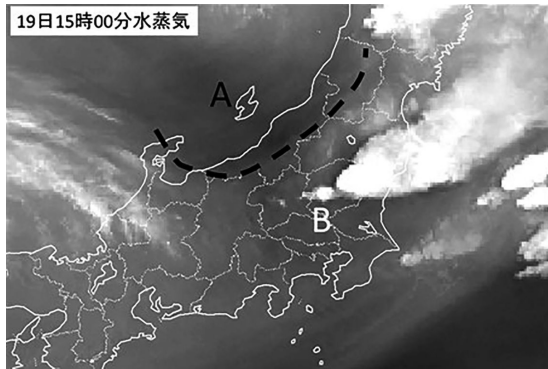
31日(木)大型台風 父島付近停滞

沖縄～東海と北海道日本海側は概ね晴れ。前線や台風の影響で大気の影響で関東中心に曇りや雨。小笠原諸島は激しい雨で日降水量150 mm前後。東京都父島最大風速27 m/sは8月1位。

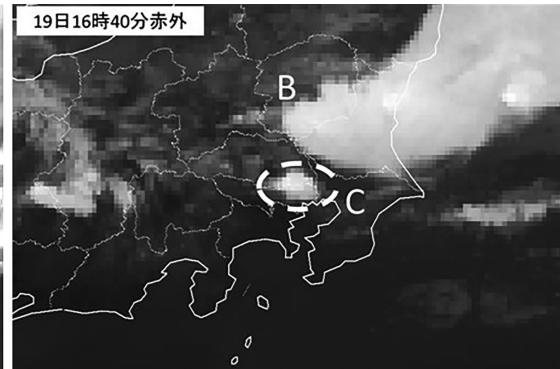


今月のひまわり画像—2017年8月

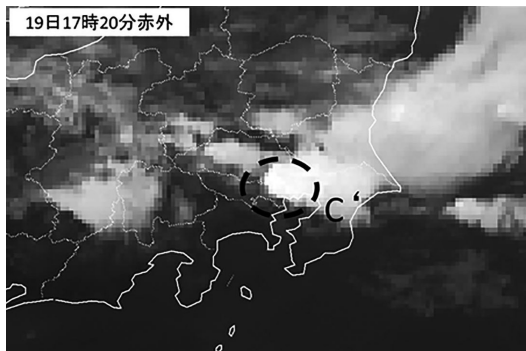
首都圏を直撃した雷雨



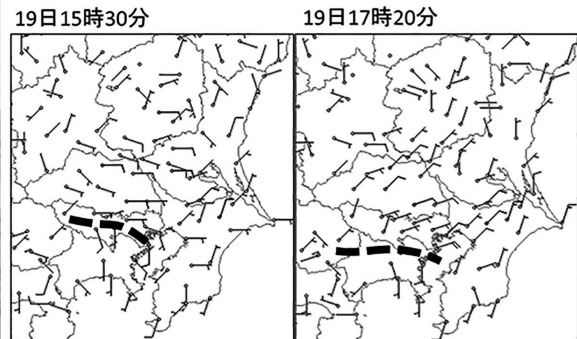
第1図 2017年8月19日15時（日本時間）の水蒸気画像（記号及び破線は本文参照）。



第2図 19日16時40分の赤外画像。



第3図 19日17時20分の赤外画像。



第4図 19日のアメダスによる地上風の状況。

2017年8月19日は昼過ぎから関東地方を中心に激しい雷雨となった。東京都の世田谷（アメダス）では17時40分までの1時間に38 mmの激しい雨を観測した。世田谷区内の公園では18時頃に落雷があり、花火大会のため同公園を訪れていた観客のうち9名が体の痺れなどを訴えて救急搬送された。

今回はこの雷雨について衛星画像で振り返ってみたい。この日09時には日本海中部に500 hPaで -9°C の寒気を伴うトラフがあり東進していた。第1図は19日15時の水蒸気画像である。北陸地方には500 hPaのトラフに対応する暗化域Aがあり、Aの南東象限の栃木県付近には筆の穂先状をした強い対流雲Bが発生した。この対流雲は約30 km/hの速さで南東進したが、

16時40分頃にはこの雲域とは別に東京都と埼玉県境付近に新たに対流雲（第2図のC）が現れた。この新たに発生した対流雲とそれに伴う濃密な雲域はその後急速に発達しながら15 km/h程度の速さで南東方向に拡大、17時20分頃にはこの雲域の南端は東京都と神奈川県との県境に迫り、雲域内の最も高い雲頂高度は圏界面（15.5 km）まで上昇した（第3図のC'）。

アメダスの地上風によると、15時30分に都内中央部にあった収束線（第4図の破線）は16時40分過ぎから南下を始め、17時20分頃には神奈川と都県境付近までに南下している。衛星画像のC及びC'の対流雲の発生場所はこの収束線の位置と対応していた。

（気象庁予報部予報課 野中信英）